

診療科
呼吸器内科

疾患名
悪性胸膜中皮腫

レジメ名
CDDP+PEM+キイトルーダ療法

投与間隔
1コース 3 週間 計 6 コース

商品名	一般名	略号	投与量		投与方法	投与時間		投与日				
				単位			単位	day1	day	day	day	day
シスプラチン	シスプラチン	CDDP	75	mg/m ²	点滴静注	1	時間	●				
ペトレキセド	ペトレキセド	PEM	500	mg/m ²	点滴静注	10	分	●				
キイトルーダ	ペムブロリズマブ	Pembrolizumab	200	mg/body	点滴静注	30	分	●				

備考(実施手順、使用器具、予測される副作用とその対応、休薬・減量・中止基準、患者への注意事項等)

- ・CDDP+PEM+キイトルーダ6コース終了後はキイトルーダ維持療法へ移行する
- ・ペトレキセド投与7日以上前から、1日1回、総合ビタミン剤1g(葉酸0.5mg含有、当院ではパンビタン)を連日投与。
パンビタンはペトレキセド投与中止後、最終投与日から22日目まで可能な限り投与継続。
- ・ペトレキセド初回投与7日以上前にシアノコバラミン1000μgを筋肉内投与。その後約9週毎に反復投与。
シアノコバラミンはペトレキセドの投与中止後も、同じ投与方法で本剤の最終投与日から22日目まで可能な限り投与。
- ・副作用としては、間質性肺炎、肝機能障害、大腸炎・下痢、消化管穿孔、甲状腺機能異常、腎機能障害、筋炎、心筋炎、重症筋無力症、脳炎、神経障害、皮膚障害、infusion reactionなどの免疫関連有害事象(irAE)が予測され、適切なモニタリングと治療が必要である。

・641-1:通常レジメ、641-2:ショートハイドレーションレジメ
641-1はday1にパロノセトロン注0.75mg、デカドロン注9.9mg、アロカリス注235mg使用しday2、day3にはデカドロン注6.6mg使用
641-2はday1にパロノセトロン注0.75mg、デカドロン注9.9mg、アロカリス注235mg使用

登録年月日
2025 年 9 月 3 日

登録No.
No. 641